

オーバースペック等の理由により評価しない技術提案の事例の公表について
(総合評価落札方式)

※総合評価落札方式を適用する工事において、オーバースペック等の理由により評価しない技術提案の事例を公表します。
なお、個別の工事において評価しない項目については、それぞれの入札説明書等でご確認いただくようお願いいたします。

平成28年4月

■オーバースペック等の理由により評価しない技術提案の事例

番号	評価しない項目	補足説明
1	JIS A 5308に規定する「レディーミストコンクリート配合計画書」の記載事項及びブランクにおける品質管理	「JIS A 5308に規定する購入者が指定しない事項に関する技術提案」及び「特記仕様書で指定するコンクリートの配合条件の変更の提案」は評価しない。
2	作業中止基準の設定	
3	リーフレット、説明会、HP、打合せ等による一般船舶への周知	
4	気象・海象情報の入手	
5	ブロック据付位置の明示方法、ブロックの据付順序、模型によるシミュレーションの実施	
6	コンクリートの打設高さの管理方法としてパイプレータや型枠等に目印をつける	
7	コンクリートの打設時間管理	
8	安全監視船の追加配備	安全監視船と同様の目的として船舶を配備する提案も評価の対象としない。
9	交通整理員、交通誘導員、見張り員の追加配置	
10	カラーコーン、ラバーコーン、照明器具等の簡易な安全設備による作業位置等の明示	
11	騒音・振動観測における自主管理基準の設定	騒音・振動観測における自主管理基準値の設定のみの提案については、評価の対象としない。
12	出来形・品質管理における自主管理基準の設定	出来形・品質管理における自主管理基準値の設定のみの提案については、評価の対象としない。
13	潜水作業従事者の日常的な健康管理、作業前後及び作業中の体調確認、安全教育の実施	
14	安全教育訓練等の実施、災害時の避難経路及び安全緊急対応体制の策定	
15	赤旗、フイ、灯浮標を使用した作業区域の明示	
16	海上衝突予防法にて示された灯火及び形象物の表示	
17	作業船係留用常設アンカーの設置	
18	他工事船舶への安全対策に関する提案	
19	陸上において型枠を大組し、高所作業を低減する	
20	コンクリート打ち重ねの時間の設定(事前試験等での時間の設定を含む)	
21	コンクリート打設時における温度測定	
22	型枠の脱型強度の設定	
23	型枠脱枠後のセパレーター跡の単純な処理	
24	施工中のコンクリート試験の試験回数増	
25	コンクリートの現場養生供試体による圧縮強度確認、シュミットハンマーによる原位置強度確認	
26	コンクリートの打重ね記録ボードの設置	
27	足場に転落防止用設備(手摺り、ネット、幅木等)の設置	
28	トラブル発生時の対応策を策定、携帯電話による緊急地震情報の入手設定	
29	隣接工事会社との調整会議を実施	
30	安全巡視員等による安全パトロールの実施	
31	汚濁防止膜(枠)の拡張・追加設置	汚濁防止膜(枠)の幅員、長さ及び高さ(深さ)方向の拡張並びに汚濁防止膜(枠)の追加については、評価の対象としない。 また、汚濁防止膜(枠)と材質は異なるが、汚濁防止膜(枠)と同様の利用形態・目的として設置する提案は評価の対象としない。
32	水深・潜水時間・減圧時間等を表示する機能を備えた機器の携行による潜水時間管理	
33	潜水作業における減圧時の梯子の使用	
34	安全チョッキ・ヘルメット・スコップ・レーキに反射材を取り付ける	
35	施工途中でのキャリブレーションの実施	

番号	評価しない項目	補足説明
36	チェックボーリングの追加	
37	特記仕様書に示す出来形確認のための調査及び試験の追加	
38	浚渫船の規格アップ及び追加配備	港湾土木請負工事積算基準 平成28年度改訂版(日本港湾協会発行)第1部第3章1節 に示す実装グラフの範囲の上限値を超過するものは評価しない。
39	ブイによる捨石投入及び均し範囲の管理	
40	航跡波への監視員の配置	
41	ケーソン据付方式における船団構成の追加配備及び規格アップ	
42	ケーソン据付における作業計画の立案、事前測量、既設ケーソンの清掃	
43	ケーソンへの中詰材の投入回数・投入量をパソコンで管理	
44	ケーソンの回航・据付等におけるトランシーバー・衛星電話の携帯や無線連絡システムを活用した現場連絡体制の確保	
45	トランシットによる矢板・杭の打設位置の誘導及び確認	
46	作業船の運航ルートの設定による航行船舶に対する安全対策	
47	アスファルト混合物の配合に関する提案	アスファルトモルタル、アスファルトマステックの配合に関する提案も評価の対象としない。
48	屋根付きの舗装材料ストックヤード・アスファルトプラントの使用	
49	アスファルト運搬時にダンプ荷台に附着防止剤を使用、ダンプ荷台をシート養生する	
50	アスファルト舗装工におけるホットジョイント工法による施工	
51	作業従事者へ安全教育等の実施、空港制限区域内運行ルート図を作成配布、運行経路KYマップの配布	
52	現場内及び現場周辺における工事車両の運行管理の設定による安全対策	
53	作業時間に制約のある工事における1日の作業スケジュールの作成及び退出時間の厳守	
54	供用空港の夜間工事における故障機械等の退出方法の設定	

■オーバースペック等の理由により評価しない技術提案の事例(中国地方整備局 港湾空港部 指定事項)

番号	評価しない項目	補足説明
①	特記仕様書に指定するコンクリートの配合条件の変更	各種モルタル及びベーストの配合条件の変更も評価の対象としない。
②	JIS A 6204に規定するコンクリート用化学混和剤の使用	
③	バイブレータの使用に関する提案	特殊バイブレータの使用に関する提案も評価の対象としない。
④	エポキシ樹脂塗装鉄筋等の使用	鉄筋と材質は異なるが鉄筋と同様の利用形態・目的として使用する提案も評価の対象としない。
⑤	汚濁低減・拡散防止対策における水質監視	
⑥	土運船の泥艙からの土砂のオーバーフロー対策	

■提案として認められない技術提案の事例(中国地方整備局 港湾空港部 指定事項)

番号	評価しない項目	補足説明
①	凝集剤・沈降剤を使用する提案	
②	工事目的物以外の任意仮設物を残置する提案	
③	本工事から別件工事へ引き継ぐリース材の規格を変更する提案	
④	関係官庁との協議又は許認可申請が新たに必要となる提案	
⑤	標準案と比較して明らかに濁りの発生が増大する提案	